

講座名	医療品質評価学講座	
代表者〈常勤〉	特任准教授	隈丸 拓
構成員〈常勤〉	特任准教授	山本 博之
	特任助教	西村 志織
	特任専門職員	中村 貴代
	〈非常勤〉特任教授	宮田 裕章
	特任助教	遠藤 英樹
	特任研究員	薄根 詩葉利, 絹川 直子, 香坂 俊,
		坂本 貴志
	学術専門職員	藤村 知恵子
	特任専門職員	宮代 優子
	客員研究員	ウォルシュ 本宮 佳代, 高橋 新, 立森 久照,
		友滝 愛, 福地 絵梨子
	届出研究員	庄司 聡, 新城 大輔, 林 祥子, 平川 信也

【 講座概要 】

当講座は東京大学医学部附属病院心臓外科・呼吸器外科を協力講座として 2006 年 4 月に発足し、現在では心臓外科、保健社会行動学分野、小児外科の3講座を中心とした様々な部門の支援の下で運営されています。2022 年 4 月からは、一般社団法人 National Clinical Database (NCD)、ニプロ株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、Intuitive Surgical Sàrl との共同研究を基盤とする社会連携講座として研究活動を行っています。

医療の目的は、「患者に対してより良いサービス」を提供することであり、良質なサービスを提供するための医療提供体制の構築や臨床現場の取り組みにおいて、「医療の質向上」の視点が重要視されています。医療品質評価学講座では、「医療の質向上」というコンセプトを主軸に、臨床現場のスタッフの方々との連携の下で研究・実践活動を行っています。具体的には、以下のような活動を展開しています。

- 臨床現場が理解・納得できる指標の同定、継続的に情報を活用するための基盤構築
- 「医療の質」を定義・測定・評価するための枠組みの設定、評価指標の検討
- 臨床現場が理解・納得して改善に活用するためのベンチマーキング、患者の治療後の予後推定機能の開発（術後の合併症発症率・死亡率等のフィードバック機能の実装と研究上の活用）
- 専門医分野別に測定された治療提供体制や診療過程、治療成績のデータに基づく、継続的な医療水準評価
- 専門医分野別のアウトカムに対するリスクモデルの開発
- 臨床データベースを基盤とした共同研究（外科専門医制度との連携、心臓外科領域における欧米・アジア諸国との連携、臨床データベースを活用した多施設臨床研究（各種投薬や手術手技、医療機器の評価）
- 新規医療デバイスの市販後調査などを含む産官学連携研究

- 保険請求データとレジストリデータの統合利用のための手法研究

【 研究内容 】

臨床データベースの基盤構築支援

「医療の質の向上」を考える上では、まず各専門領域における「医療の質」自体を適切に定義し、評価を行うことが必要とされます。専門家の関わりやそれによってもたらされる影響を正しく把握することが、医療の質において必要とされる要素です。これは継続的に専門分野別の治療提供体制（structure）や診療過程（process）、治療成績（outcome）を測定し、臨床現場が理解・納得して改善に活用すること（Plan-Do-Study-Act サイクル）により実現されます。適切な指標を求めるには臨床現場が理解・納得できる情報を継続的に収集し、その情報を分析・活用するデータベース事業を行うことが極めて重要となります。

2010 年 4 月には日本外科学会と関連する 10 学会の連携のもとで、一般社団法人 National Clinical Database（通称 NCD）が設立されました。2011 年 1 月 1 日の手術・治療症例から登録が開始され、2023 年 9 月の段階で約 5,600 施設が参加しています。年間登録件数は約 200 万症例を超え、現時点で累計 2000 万以上の症例が登録されています。2012 年からは NCD データに基づいた外科専門医の認定制度が開始されました。2015 年から日本病理学会、2016 年から日本泌尿器学会と日本形成外科学会、2017 年以降では、前立腺がん、胃がん、腎がん、食道癌、膀胱癌、遺伝性乳癌卵巣癌、肺癌登録のレジストリが開始され、内科領域との連携も活発化しています。専門医制度と連結しながら広範な診療科領域が連携する医療の質向上の取り組みである NCD の活動は、国内外でも前例がない非常に先進的な活動です。



また、医療の質を考える上で、アウトカム（治療結果）は不可欠な要素です。ただし医療では、患者の個々の状態像が異なるため、アウトカムを考える上では、重症度を考慮した指標を用いることが重要となります。医療品質評価学講座においては、患者のための最善の医療を長期的に提供することができる体制を構築するため、体系的なデータ収集に基づいたアウトカム分析を行っています。医療品質評価学講座は NCD との共同研究を通じて、この臨床ビッグデータを医療現場で活用する取り組みとして、心臓外科領域で発展させてきたリスクモデルの開発や各施設へのレポートの実装などを、消化器外科領域や呼吸器外科領域、小児外科領域など、各専門領域における医療水準の把握、診療の質評価の分析を実施し、現場へフィードバック可能な機能として開発・実装に取り組んでいます。2016 年には、新たに乳腺外科領域において、これまでの手術リスクモデルと異なる、治療プロセスの評価を行うプロセス型フィードバックを開始し、その後、冠動脈インターベンション領域でもそれが実施されています。このような医療の質に関わる情報は、医療提供者が術前カンファレンスで活用するだけでなく、インフォームドコンセントなどで利用

されることにより、患者にとってもよりよく治療を理解するために有用となっています。

NCD を用いた臨床疫学研究

質の高いエビデンスを創出するためには、質の保証されたデータが不可欠です。NCD で収集された各診療領域のデータベースを用いて、学会や臨床家との協力の下さまざまな臨床課題に答えるような臨床疫学研究を行っています。近年では、精緻な解析や先進的な解析手法を必要とするケースが増え、当講座では次世代型疫学・統計学的解析手法を臨床疫学研究に応用しています。

2014 年以降、当講座は、学会・PMDA・製造販売企業との協働のもと、NCD を基盤とする全国レジストリを用いた医療デバイスの市販後調査活動に協力しています。データベースを用いた効率的かつ質の高い市販後調査に働きかけ、安全なデバイスの普及を支援しています。また、2017 年から NCD 参加施設に協力を呼びかけ、医事・保険請求データの収集を開始しました。NCD が保持している臨床症例データベース基盤に、医事・保険請求データを連携し、臨床研究や医療経済評価を通して医療の質の向上や医療資源配置最適化へつながるエビデンスを創出しています。

学会や企業との連携による臨床疫学研究

当講座は産学連携の共同研究により様々な社会課題の解決に向けた研究に取り組んでいます。近年では保険請求データを用いて、手術中の医療材料のリアルワールドでの使用実態を明らかにし、また、材料の使用とアウトカムとの関係を検討を行った企業との共同研究を行っています。そのほかに、学会との協働の例として、外科医における手術経験数の男女差を明らかにした研究があり、その結果を踏まえて男女共同参画を促す消化器外科学会からの宣言が発出されました。このようなリアルワールドでのエビデンスの創出や医療者のキャリアに関する研究成果が臨床現場への活用されることが期待されます。

【 今後の展望 】

今後の展望として、様々な領域と広く連携し、医療の質向上や医療資源配置の最適化に向けた実践的取り組みのための支援を行っていく予定です。さらに、今後は治療成績の改善に向けた取り組みの支援とそれらを支える政策提言を行っていきます。また、データベースに登録された症例データのさらなる活用を通じて、手術手技・治療法や、投薬、医療機器の評価などを行う臨床研究も、より積極的に行う予定です。心臓血管外科、消化器外科領域などにおいては、欧米のデータベース事業との連携した研究活動が発展しています。今後は国際的な枠組みの中でも、医療の質向上を体系的に支援する活動を行っていく予定です。

【 令和6年度活動実績 】

<論文・著書>

■ 和文論文

1. 山本博之, 遠藤英樹, 隈丸拓. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第12回 大規模データベースを使用した医療の質研究入門. Kyobu Geka. 2024 Oct 1;77(11):941-5.
2. 隈丸拓., 遠藤英樹, 山本博之. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第11回 自己対照研究デザイン. Kyobu Geka. 2024 Sep 1;77(9):685-9.
3. 隈丸拓., 遠藤英樹, 山本博之. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第10回 リスクモデルの構築. Kyobu Geka. 2024 Aug 1;77(8):613-9.
4. 山本博之, 遠藤英樹, 隈丸拓. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第8回 交絡と回帰分析の実際. Kyobu Geka. 2024 Jun 1;77(6):457-60.
5. 山本博之, 遠藤英樹, 隈丸拓. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第6回 統計解析の基本とアウトカムの考え方. Kyobu Geka. 2024 Apr 1;77(4):294-7.
6. 山本博之, 遠藤英樹, 隈丸拓. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第5回 レポートティングガイドラインと研究計画立案. Kyobu Geka. 2024 Mar 1;77(3):197-200.
7. 隈丸拓., 篠崎智大, 遠藤英樹, 山本博之. 連載 外科医のためのビッグデータ利活用入門 第4回 傾向スコアと解析結果の解釈. Kyobu Geka. 2024 Feb 1;77(2):127-32.

■ 英文論文

1. Taji T, Kumamaru H, Kataoka Y, Iijima K, Suwa H, Ishiguro H, Taira N, Ishida T, Saji S. Comparison of neoadjuvant and adjuvant chemotherapy for operable triple-negative breast cancer before the era of immune checkpoint inhibitors: A retrospective study from the Japanese National Clinical Database-Breast Cancer Registry. Breast. 2025 Mar 25;81:104460.
2. Takemura Y, Endo H, Hibi T, Seishima R, Takeuchi M, Yamamoto H, Maeda H, Hanazaki K, Taketomi A, Kakeji Y, Seto Y, Ueno H, Endo I, Ohtsuka M, Mori M, Shirabe K, Kitagawa Y. Impact of the COVID-19 pandemic on the short-term outcomes after advanced liver resections performed in institutions certificated by Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery: Results from the Japanese National Clinical Database, 2018-2022. J Hepatobiliary Pancreat Sci [Internet]. 2025 Mar 24; Available from: <http://dx.doi.org/10.1002/jhbp.12141>

3. Okuda R, Ogura T, Hisata S, Baba T, Kondoh Y, Suda T, Johkoh T, Iwasawa T, Tomioka H, Bando M, Azuma A, Inoue Y, Ishikawa N, Arai N, Takihara T, Hamaguchi M, Arai T, Nakamura Y, Miyamoto A, Tomii K, Miyazaki Y, Chiba H, Ishii H, Hamada N, Terasaki Y, Fukuoka J, Sakai F, Egashira R, Fujimoto K, Sumikawa H, Suzuki T, Sakamoto S, Nishioka Y, Hattori N, Hashimoto N, Morita S, Ichihara N, Miyata H, Hagiwara K, Kobayashi K, Nukiwa T, JIPS registry collaborators. Prognostic prediction for newly diagnosed patients with idiopathic interstitial pneumonia: JIPS Registry (NEJ030). *Respir Investig*. 2025 Mar 17;63(3):365–72.
4. Kato H, Horiguchi A, Ohtsuka T, Nanashima A, Unno M, Wakai T, Miura F, Isayama H, Hirooka Y, Aoki T, Yamamoto H, Yasuda I, Endo I. Annual report of Japanese biliary tract cancer registry from 2021: Focus on the rate of R0 resection, postoperative complications, and site of lymph node metastasis. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* [Internet]. 2025 Mar 16; Available from: <http://dx.doi.org/10.1002/jhbp.12129>
5. Yamada Y, Seto Y, Yoshikawa T, Takeuchi H, Kitagawa Y, Kodera Y, Doki Y, Yoshida K, Muro K, Kabeya Y, Kamada A, Nagashima K, Kumamaru H, Tachimori H, Sasako M, Katai H, Konno H, Kakeji Y. Postoperative adjuvant chemotherapy in patients with gastric cancer based on the Nationwide Gastric Cancer Registry in Japan. *Glob Health Med*. 2025 Feb 28;7(1):13–27.
6. Committee for Scientific Affairs, The Japanese Association for Thoracic Surgery, Yoshimura N, Sato Y, Takeuchi H, Abe T, Yoshikawa TF, Hirata Y, Ishida M, Iwata H, Kamei T, Kawaharada N, Kawamoto S, Kohno K, Kumamaru H, Minatoya K, Motomura N, Nakahara R, Okada M, Saji H, Saito A, Tsuchida M, Suzuki K, Takemura H, Taketani T, Toh Y, Tatsuishi W, Yamamoto H, Yasuda T, Watanabe M, Matsumiya G, Sawa Y, Shimizu H, Chida M. Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2022 : Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*. 2025 Feb 12;73(4):254–94.
7. Haruki T, Yamamoto H, Hoshikawa Y, Iwata H, Sato Y, Suzuki K, Yoshino I. Clinicopathological features and perioperative outcomes of robot-assisted thoracoscopic surgery for primary lung cancer: An analysis of initial outcomes based on the National Clinical Database. *Surg Today* [Internet]. 2025 Feb 7; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s00595-025-02992-5>
8. Nagahashi M, Kumamaru H, Kinukawa N, Iwamoto T, Kawashima M, Kinoshita T, Konishi T, Sagara Y, Sasada S, Saji S, Sanuki N, Tanakura K, Niikura N, Miyashita M, Yoshida M, Ishida T, Taira N. Breast cancer statistics for Japan in 2022: annual report of the national

- clinical database-breast cancer registry-clinical implications including chemosensitivity of breast cancer with low estrogen receptor expression. *Breast Cancer*. 2025 Feb 6;32(2):217–26.
9. Sakai-Bizmark R, Kumamaru H, Lee JH, Estevez D, Wu F, Marr EH, Miller LG. Evaluation of disparities in hospitalisation outcomes for deaf and hard of hearing patients with COVID-19: a multistate analysis of statewide inpatient databases from Florida, Maryland, New York and Washington. *BMJ Open*. 2025 Jan 21;15(1):e089470.
 10. Yamamoto T, Takahashi A, Yoshizumi T, Ishihara S, Inomata M, Imoto S, Eguchi H, Ebata T, Otsuka M, Okuyama H, Kakeji Y, Kato T, Kamei T, Saiki Y, Saito A, Shimizu H, Soga Y, Tajiri T, Nogi H, Hatano E, Hara H, Bitoh Y, Mizushima T, Minatoya K, Miyagawa S, Yamauchi H, Yoshino I, Baba H, Matsubara H, Hasegawa K, Taketomi A. 2023 National Clinical Database Annual Report by the Japan Surgical Society. *Surg Today*. 2025 Jan 17;55(3):295–334.
 11. Sakai-Bizmark R, Gemmill A, Kumamaru H, Marr EH, Estevez D, Wu F, Henwood BF. Physical Intimate Partner Violence Among Women Experiencing Homelessness Before and During Pregnancy. *Am J Epidemiol* [Internet]. 2025 Jan 9; Available from: <http://dx.doi.org/10.1093/aje/kwaf003>
 12. Seishima R, Tachimori H, Fukuda K, Ikeda N, Miyata H, Fushimi K, Kitagawa Y. Impact of COVID-19 on hospital visit behaviour in cancer patients in Japan: a nationwide study. *BMJ Open*. 2024 Dec 26;14(12):e084630.
 13. Matsuura K, Kumamaru H, Kohsaka S, Kanda T, Kitahara H, Shimamura K, Kobayashi Y, Matsumiya G. Comparing moderate-severe and severe mitral regurgitation in transcatheter aortic valve replacement on 1-year survival: insights from a Japanese Nationwide Registry. *Heart Vessels* [Internet]. 2024 Dec 19; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s00380-024-02491-6>
 14. Shintani Y, Yamamoto H, Sato Y, Inoue M, Asakura K, Ito H, Uramoto H, Okada Y, Sato T, Fukui M, Hoshikawa Y, Chen-Yoshikawa TF, Chida M, Ikeda N, Yoshino I. Effects of the COVID-19 pandemic on surgical treatment for thoracic malignant tumor cases in Japan: a national clinical database analysis. *Surg Today* [Internet]. 2024 Dec 7; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s00595-024-02907-w>
 15. Hata T, Yamamoto H, Ikeda M, Nagano H, Takemasa I, Naitoh T, Yamada N, Uemura M, Eguchi H, Kakeji Y, Shirabe K, Doki Y. Status of perioperative venous thromboembolism (VTE) prophylaxis in gastrointestinal surgery based on national clinical database (NCD) data in Japan. *Surg Today* [Internet]. 2024 Dec 4; Available from:

<http://dx.doi.org/10.1007/s00595-024-02969-w>

16. Takeuchi M, Endo H, Hibi T, Seishima R, Takemura Y, Yamamoto H, Maeda H, Taketomi A, Kakeji Y, Seto Y, Ueno H, Watanabe M, Daiko H, Yasuda T, Yamasaki M, Mori M, Takeuchi H, Shirabe K, Kitagawa Y. Association between the COVID-19 pandemic and short-term outcomes after esophagectomy for esophageal cancer in facilities with and without board-certified esophageal surgeons: a nationwide retrospective cohort study. *Esophagus* [Internet]. 2024 Dec 2; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s10388-024-01094-4>
17. Poudel S, Yamamoto H, Miyazaki K, Idani H, Sato M, Takagi T, Nagae I, Matsubara T, Shirabe K, Ueno H, Hachisuka T. State of groin hernia repair in Japan: Annual Report of 2022 from the National Clinical Database. *Surg Today* [Internet]. 2024 Dec 2; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s00595-024-02971-2>
18. Akagi T, Nishimura S, Ueda Y, Inomata M, Shiroshta H, Takiguchi S, Sakai Y, Kumamaru H, Ueno H, Kitagawa Y. Identification of risk factors for postoperative complications after right colectomy and low anterior resection in patients ≥ 85 years old with colorectal cancer using the National Clinical Database. *Ann Gastroenterol Surg* [Internet]. 2024 Nov 11; Available from: https://scholar.google.com/citations?view_op=view_citation&hl=en&citation_for_view=GfFrGakAAAAJ:abG-DnoFyZgC
19. Yamamoto R, Hirakawa S, Tachimori H, Matsuoka T, Kikuchi H, Hasegawa H, Shirabe K, Kakeji Y, Kawakubo H, Kitagawa Y, Sasaki J. Simple severity scale for perforated peptic ulcer with generalized peritonitis: a derivation and internal validation study. *Int J Surg*. 2024 Nov 1;110(11):7134–41.
20. Ito S, Takahashi A, Ueno H, Takiguchi S, Kajiwara Y, Kakeji Y, Eguchi S, Goi T, Saiura A, Sasaki A, Takeuchi H, Tanaka C, Hashimoto M, Hiki N, Horiguchi A, Matsuda S, Mizushima T, Yamamoto H, Kitagawa Y, Shirabe K. Annual report on National Clinical Database 2021 for gastroenterological surgery in Japan. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Oct 17;9(1):32–59.
21. Iwahashi T, Yamamoto H, Motomura N, Shimizu H, Okita Y, Sawa Y, Ogino H. Clinical Characteristics and Early Surgical Outcomes of Aorto-esophageal Fistula. *Ann Thorac Surg* [Internet]. 2024 Oct 9; Available from: <http://dx.doi.org/10.1016/j.athoracsur.2024.09.035>
22. Yamamoto S, Okamoto K, Kumamaru H, Saito M, Ito H, Yamashita M, Kanno Y, Ikeda M, Harada S, Okugwa S, Kimura M, Kinoshita O, Ono M, Tsutsumi T, Moriya K. Clinical

impact of the use of chronic suppressive antibiotics against recurrent ventricular assist device infections. *Microbiol Spectr*. 2024 Oct 4;12(11):e0039824.

23. Nishigori T, Kumamaru H, Obama K, Suda K, Tsunoda S, Yoda Y, Hikage M, Shibasaki S, Tanaka T, Terashima M, Kakeji Y, Inomata M, Kitagawa Y, Miyata H, Sakai Y, Noshiro H, Uyama I. Short-term outcomes of robot-assisted versus conventional minimally invasive esophagectomy: A propensity score-matched study via a nationwide database. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Aug 29;9(1):109–18.
24. Waseda R, Yamamoto H, Shintani Y, Sato T, Suzuki K, Maniwa Y, Sato Y, Yoshino I, Chida M. Preoperative risk-factors for secondary spontaneous pneumothorax surgery in Japan: a nationwide database study. *Surg Today* [Internet]. 2024 Aug 27; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s00595-024-02926-7>
25. Kakeji Y, Yamamoto H, Watanabe M, Kono K, Ueno H, Doki Y, Kitagawa Y, Takeuchi H, Shirabe K, Seto Y. Outcome research on esophagectomy analyzed using nationwide databases in Japan: evidences generated from real-world data. *Esophagus*. 2024 Aug 19;21(4):411–8.
26. Kikuchi E, Yamamoto H, Yasui T, Hatakeyama S, Mizuno R, Sakamoto S, Mizuno K, Morizane S, Hayakawa N, Kobayashi T, Kamoto T, Eto M. The first detailed annual record on the National Clinical Database Urology Division in Japan: A report on five surgical procedures. *Int J Urol*. 2024 Aug 18;31(12):1344–55.
27. Nakatani E, Ohno H, Satoh T, Funaki D, Ueki C, Matsunaga T, Nagahama T, Tonoike T, Yui H, Miyakoshi A, Tanaka Y, Igarashi A, Kumamaru H, Kuriyama N, Sugawara A. Comparing the effects of biguanides and dipeptidyl peptidase-4 inhibitors on cardio-cerebrovascular outcomes, nephropathy, retinopathy, neuropathy, and treatment costs in diabetic patients. *PLoS One*. 2024 Aug 9;19(8):e0308734.
28. Yasui T, Kikuchi E, Yamamoto H, Ishii D, Mizuno R, Hatakeyama S, Kobayashi T, Uchida J, Takahashi M, Sakamoto S, Morizane S, Kamoto T, Eto M. Annual record on the number of general urological surgeries registered in the National Clinical Database system between April 2018 and December 2021 in Japan. *Int J Urol*. 2024 Aug 6;31(11):1256–62.
29. Shimokawa T, Kumamaru H, Motomura N, Nishi H, Nakajima H, Kamiya H, Tabata M, Okamoto K, Hosoba S, Saiki Y, Sakaguchi T. Minimally invasive cardiac surgeries in 2021: annual report by Japanese society of minimally invasive cardiac surgery. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* [Internet]. 2024 Jul 31; Available from: <http://dx.doi.org/10.1007/s11748-024-02066-2>

30. Ueda Y, Nishimura S, Inomata M, Akagi T, Shiroshita H, Etoh T, Takiguchi S, Sakai Y, Kumamaru H, Ueno H, Kitagawa Y. Risk factors for serious postoperative complications following gastrectomy in super-elderly patients ≥ 85 -years-old with gastric cancer: A National Clinical Database study in Japan. *Ann Gastroenterol Surg* [Internet]. 2024 Jul 10; Available from: <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ags3.12843>
31. Sasada S, Kumamaru H, Hayashi N, Kinukawa N, Toi M, Jinno H, Saji S. Impact of immediate breast reconstruction on perioperative therapy: insights from a Japanese Nationwide Registry. *Breast Cancer*. 2024 Jun 19;31(5):909–16.
32. Watanabe G, Kumamaru H, Kinukawa N, Shibata T, Shiose A, Takagi Y, Ishikawa N, Motomura N. Successful launch of robot-assisted mitral valve repair in Japan under universal health coverage. *J Thorac Cardiovasc Surg* [Internet]. 2024 May 25; Available from: <http://dx.doi.org/10.1016/j.jtcvs.2024.05.014>
33. Ozawa H, Takahashi A, Bessho R, Hoshina K, Shukuzawa K, Ohki T. Saccular and Fusiform Abdominal Aortic Aneurysms Treated With Endovascular Repair Differ in Presentation and Treatment Threshold: Analyses Using a National Clinical Database in Japan. *J Am Heart Assoc*. 2024 May 23;13(11):e032715.
34. Soyama A, Yamamoto H, Eguchi S, Nanashima A, Kakeji Y, Kitagawa Y, Nakamura M, Endo I. Short-term outcomes after liver resection with vascular reconstruction: Results from a study with the National Clinical Database of Japan. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*. 2024 Apr 28;31(7):425–36.
35. Tamura Y, Kumamaru H, Tsujino I, Suda R, Abe K, Inami T, Horimoto K, Adachi S, Yasuda S, Sera F, Taniguchi Y, Kuwana M, Tatsumi K, Japan Pulmonary Hypertension Registry Network. Switching from Beraprost to Selexipag in the Treatment of Pulmonary Arterial Hypertension: Insights from a Phase IV Study of the Japanese Registry (The EXCEL Study: EXChange from bEraprost to seLexipag Study). *Pharmaceuticals (Basel)* [Internet]. 2024 Apr 26;17(5). Available from: <http://dx.doi.org/10.3390/ph17050555>
36. Orimo T, Hirakawa S, Taketomi A, Tachimori H, Oshikiri T, Miyata H, Kakeji Y, Shirabe K. Risk model for morbidity and mortality following liver surgery based on a national Japanese database. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Apr 16;8(5):896–916.
37. Ogawa S, Endo H, Yoshida M, Tsuru T, Itabashi M, Yamamoto H, Kakeji Y, Ueno H, Kitagawa Y, Hibi T, Taketomi A, Ikeda N, Mori M. Effects of the COVID-19 pandemic on short-term postoperative outcomes of emergency surgery for gastroduodenal perforation: A nationwide study in Japan based on the National Clinical Database. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Apr 15;8(5):795–806.

38. Endo H, Okamoto H, Hashimoto S, Miyata H. Association Between In-hospital Mortality and the Institutional Factors of Intensive Care Units with a Focus on the Intensivist-to-bed Ratio: A Retrospective Cohort Study. *J Intensive Care Med*. 2024 Apr 3;39(10):958–64.
39. Sato N, Hirakawa S, Marubashi S, Tachimori H, Oshikiri T, Miyata H, Kakeji Y, Kitagawa Y. Predicting surgical outcomes of acute diffuse peritonitis: Updated risk models based on real-world clinical data. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Apr 2;8(4):711–27.
40. Tanabe N, Kumamaru H, Tamura Y, Kondoh Y, Nakayama K, Kinukawa N, Kimura T, Nishiyama O, Tsujino I, Shigeta A, Morio Y, Inoue Y, Kuraishi H, Hirata KI, Tanaka K, Kuwana M, Nagaoka T, Handa T, Sugimura K, Sakamaki F, Naito A, Taniguchi Y, Matsubara H, Hanaoka M, Inami T, Hayama N, Nishimura Y, Kimura H, Miyata H, Tatsumi K, JRPHS Group. Pulmonary Hypertension With Interstitial Pneumonia: Initial Treatment Effectiveness and Severity in a Japan Registry. *JACC Asia*. 2024 Mar 26;4(5):403–17.
41. Takemura Y, Endo H, Hibi T, Nakano Y, Seishima R, Takeuchi M, Yamamoto H, Maeda H, Hanazaki K, Taketomi A, Kakeji Y, Seto Y, Ueno H, Mori M, Kitagawa Y. Impact of the COVID-19 pandemic on short-term outcomes after pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer: A retrospective study from the Japanese National Clinical Database, 2018-2021. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Mar 23;8(5):877–87.
42. Saito Y, Inohara T, Kohsaka S, Wada H, Kumamaru H, Yamaji K, Ishii H, Amano T, Miyata H, Kobayashi Y, Kozuma K, J-PCI Registry Investigators. Benchmarking System Monitoring on Quality Improvement in Percutaneous Coronary Intervention: A Nationwide Registry in Japan. *JACC Asia*. 2024 Feb 20;4(4):323–31.
43. Akagi T, Endo H, Inomata M, Shiroshita H, Yamaguchi S, Eguchi S, Wada N, Kurokawa Y, Seki Y, Sakai Y, Yamamoto H, Kakeji Y, Kitagawa Y, Taketomi A, Mori M. Investigation of the impact of COVID-19 on postoperative outcomes using a nationwide Japanese database of patients undergoing laparoscopic distal gastrectomy and low anterior resection for gastric cancer and rectal cancer. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Jan 28;8(3):521–9.
44. Yamada T, Endo H, Hasegawa H, Kakeji Y, Yamamoto H, Miyata H, Otsuka K, Matsuda A, Yoshida H, Kitagawa Y. Presurgical mild anemia is a risk factor for severe postoperative complications of rectal cancer surgery: A Japanese nationwide retrospective cohort study. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Jan 10;8(3):471–80.
45. Matsuda T, Takemasa I, Endo H, Mori S, Hasegawa S, Hida K, Tokunaga T, Tanaka K, Mukai T, Watanabe J, Kawamura J, Kimura K, Kakeji Y, Watanabe M, Yamamoto S, Naitoh T. Local Recurrence of Rectal Cancer After Transanal Total Mesorectal Excision

and Risk Factors: A Nationwide Multicenter Cohort Study in Japan. Ann Surg Open. 2024 Jan 8;5(1):e369.

46. Ogawa S, Endo H, Yoshida M, Tsuru T, Itabashi M, Yamamoto H, Kakeji Y, Ueno H, Kitagawa Y, Hibi T, Taketomi A, Ikeda N, Mori M. Effects of the COVID-19 pandemic on short-term postoperative outcomes for colorectal perforation: A nationwide study in Japan based on the National Clinical Database. Ann Gastroenterol Surg. 2023 Nov 23;8(3):450–63.
47. Nakamaru R, Nishimura S, Kumamaru H, Shoji S, Nakatani E, Yamamoto H, Miyachi Y, Miyata H, Kohsaka S. Trajectories of Frailty and Clinical Outcomes in Older Adults With Atrial Fibrillation: Insights From the Shizuoka Kokuho Database. Circ Cardiovasc Qual Outcomes. 0(0):e010642.
48. Ozaki Y, Tobe A, Onuma Y, Kobayashi Y, Amano T, Muramatsu T, Ishii H, Yamaji K, Kohsaka S, Ismail TF, Uemura S, Hikichi Y, Tsujita K, Ako J, Morino Y, Maekawa Y, Shinke T, Shite J, Igarashi Y, Nakagawa Y, Shiode N, Okamura A, Ogawa T, Shibata Y, Tsuji T, Hayashida K, Yajima J, Sugano T, Okura H, Okayama H, Kawaguchi K, Zen K, Takahashi S, Tamura T, Nakazato K, Yamaguchi J, Iida O, Ozaki R, Yoshimachi F, Ishihara M, Murohara T, Ueno T, Yokoi H, Nakamura M, Ikari Y, Serruys PW, Kozuma K, Task Force on Primary Percutaneous Coronary Intervention (PCI) of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention, Therapeutics (CVIT). CVIT expert consensus document on primary percutaneous coronary intervention (PCI) for acute coronary syndromes (ACS) in 2024. Cardiovasc Interv Ther. 2024 Sep 20;39(4):335–75.
49. Warisawa T, Sonoda S, Yamaji K, Amano T, Kohsaka S, Natsuaki M, Tsujita K, Hibi K, Kobayashi Y, Kozuma K. State-of-the-art percutaneous coronary intervention for left main coronary artery disease in Japan. Cardiovasc Interv Ther. 2024 Jul 30;39(4):386–402.

<学会・講演発表>

■ 国内学会

- 1 山本 博之. 外科医が知っておきたい NCD の基礎知識 構造から利活用の最前線まで. 日本外科学会定期学術集会抄録集 124 回 LTS-07 愛知県常滑市. 2024 年 4 月
- 2 山本 博之. National Clinical Database による外科医療の可視化. 第 24 回日本糖尿病インフォマティクス学会 年次学術集会, 東京, 2024
- 3 山本 博之. 医療ビッグデータとしての NCD の軌跡と この先に目指すもの. 第 78 回日本食

道学会学術集会, 東京, 2024

- 4 西村 志織, 関節リウマチ薬における治療ラインのリアルワールド解析 : NDB を用いた産学連携研究, 東京. 2024 年 9 月

■ 国際学会

- 1 Hiroyuki Yamamoto. Translating the Results into Clinical Practice: Results from the Japanese Experience. Annual Congress of KSS 2024 & 76th Congress of the Korean Surgical Society, Seoul, 2024.
- 2 Nishimura S, et al. Anticoagulant Discontinuation After Minor Bleed and Stroke Risk Among Atrial Fibrillation Patients. ISPE's 16th Asian Conference on Pharmacoepidemiology. 2023 Oct. Tokyo, Japan.
- 3 Nishimura S, et al. Determining lines of therapy in real-world patients with rheumatoid arthritis: analyses of a nationwide claims database in Japan. 2024 ISPE Annual Meeting. 2024 August. Berlin, Germany

■ 社会活動

隈丸 拓 : 厚生労働省 保険医療専門審査員

隈丸 拓 : 日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター 再発防止委員会委員

隈丸 拓 : 日本薬剤疫学会 理事、医療機器TF座長、健康・医療情報データベース活用委員

隈丸 拓 : 日本臨床疫学会 編集委員

山本 博之 : National Clinical Database, 情報技術委員会 委員、統計解析委員会 委員

山本 博之 : 日本泌尿器科学会, NCD運営委員会委員

山本 博之 : 日本消化器外科学会, データベース委員会 アドバイザー、プロジェクト管理小委員会 委員, NCDデータ品質管理小委員会 委員

山本 博之 : 日本心臓血管外科手術データベース機構 (JCVSD), データ利用方針検討委員会 委員

山本 博之 : Renal Replacement Therapy, Statistic Advisory Board

山本 博之 : 日本心臓血管外科学会, データベース・医療の質委員会 委員

西村 志織 : 日本薬剤疫学会 健康・医療情報データベース活用委員